

第 7 回

次期札幌市健康づくり基本計画策定部会

会 議 録

日 時：平成25年8月27日（火）午後1時30分開会
場 所：札幌市保健所 2階 研修室A・B

1. 開 会

○事務局（澤田健康推進担当課長） きょうご出席予定の向井委員がまだお見えではございませんが、恐らく、こちらに向かっていると思います。

定刻になりましたので、始めさせていただきます。

ただいまから、第7回次期札幌市健康づくり基本計画策定部会を開会させていただきます。

本日の会議終了は、おおむね午後3時を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

本日で、策定部会も最終となります。長期間にわたり、貴重なご意見、ご討議をいただき、ありがとうございました。本日も、どうぞよろしくお願いいたします。

本日もご出席いただきました委員の皆様につきましては、お手元に出席者名簿をお配りしておりますので、ご確認ください。

それでは、資料の確認をさせていただきます。

机にご用意した資料は、本日の次第、出席者名簿、資料1として札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）素案、資料2として「札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）」の概要、資料3として札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）サブタイトル、資料4として札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）策定スケジュールとなっております。

なお、事前に資料を送付させていただきましたが、一部、差しかえと追加がございますので、本日は机にお配りいたしました資料をお使いいただきたいと思います。

不足している資料はございませんか。

2. 第6回「次期札幌市健康づくり基本計画策定部会」検討結果について

○事務局（澤田健康推進担当課長） 最初に、前回の策定部会結果についてご報告いたします。

前回の策定部会では、全体目標のすこやかに産み育てるに関する取り組みと、健康を支え、守るための環境整備に関する取り組みについてご検討いただきました。また、計画本書の構成についてもご検討いただきました。

取り組み内容の検討では、第5回策定部会と同じように、委員の皆様から貴重なご意見を数多くいただくことができました。皆様のご意見を参考とし、次期健康づくり基本計画を推進し、市民の健康づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

それでは、議事に移ります。

これからの進行につきましては、川初部会長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 議 事

○川初部会長 いよいよ部会の最終回になりました。本日まで来られたのも、各委員から、豊富で活発で理知に富んだご意見をいただいたことによるものだと思います。そして、素案づくりというのは大変な労作であることを、委員一同、実感できることだと思いますが、事務局を担当されました札幌市保健福祉局の方々には、本当にありがとうございました。完結に向けまして、きょうはいよいよかという感じでございます。きょうも、活発なご意見をどうぞよろしくお願いいたします。

議事に入らせていただきます。

札幌市健康づくり基本計画健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）素案の検討になります。

事務局からもご説明がありましたとおり、いよいよ本日が最後でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議題（１）「札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）」素案について、事務局から説明をお願いします。

○事務局（澤田健康推進担当課長） それでは、資料1の本書と資料2の概要をご用意ください。

これから、概要であります資料2を中心として、札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）の素案についてご説明させていただきます。

資料2の1ページの左側上段にあります1「札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）」の位置づけをごらんください。

計画の期間につきましては、平成26年度から平成35年度までとなっており、平成30年度に中間評価を実施する予定でございます。

次に、計画の位置づけについてでございます。

札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）の国の計画に対する位置づけといたしましては、国の健康日本21（第二次）に対する市町村増進計画、そして、健やか親子21の札幌市計画として位置づけられます。また、札幌市の計画に対する位置づけといたしましては、札幌市の計画であります札幌市まちづくり戦略ビジョンの個別計画として位置づけられます。この計画の位置づけにつきましては、本書である資料1の4ページから5ページの第1章の計画の策定に当たってに掲載しております。

次に、資料2の1ページの左側下段の2札幌市民の健康を取り巻く現状をごらんください。

この中では、現状として、人口の推移、平均寿命と健康寿命の差、出生の状況、死亡の状況、要介護者の状況、医療費等における生活習慣病の割合が示されております。この現状につきましては、本書である資料1の6ページから13ページに掲載してございます。

6ページの第2章の札幌市民の健康を取り巻く現状の1社会的背景、8ページの2人口動態、12ページの3要介護認定者の状況、13ページの4札幌市国民健康保険における生活習慣病の状況にそれぞれ掲載しております。

続いて、資料2にお戻りください。

1 ページ右側の3 札幌市健康づくり基本計画の最終評価をごらんください。

この中では、現計画、札幌市健康づくり基本計画の基本目標であるすこやかに産み育てる、健康寿命の延伸、健康な地域づくりについての取り組み内容、最終評価、今後の方向性を示しております。この現計画の基本目標についての取り組み内容、最終評価、今後の方向性は、本書である資料1 では14 ページから18 ページに記載しております。

第2章の5 札幌市健康づくり基本計画の最終評価の中で、全般的評価、計画策定時より後退した主な項目と、その要因や今後の方向性ととも掲載しております。

次に、資料2の2 ページにお戻りいただき、左側の4 「札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）」の体系をごらんください。

この中では、札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）の体系として、基本理念、全体目標、基本方針、健康を支え、守るための社会環境の整備、重視すべき事項、基本戦略を示しております。この体系は、本書である資料1の19 ページから24 ページ、第3章の基本理念と方針に掲載しております。

ここで、前回までの策定部会から見直した点がございますので、ご説明させていただきます。

資料2にお戻りいただきまして、2 ページの左側上段の体系図をごらんください。

基本方針につきましては、前回の策定部会までは基本目標として表現しておりましたが、市の関係課との調整の中で、体系の上位に全体目標という文言があり、現在、表記しています基本方針を基本目標といたしますと、目標が二つあることになり、わかりづらいという指摘がございました。

基本目標は、方針としての趣旨で考えておりましたので、市民の方にもわかりやすいよう、基本目標から基本方針に表現を変更したいと考えております。また、前回の策定部会でご検討いただきました重点取り組みにつきましては、資料2の2 ページの左側下段にて、重視すべき事項として記載してございますが、本書である資料1の19 ページか20 ページに、全体目標の中の全体目標1 健康寿命の延伸と、全体目標2 健康格差の縮小の説明の中に掲載したいと考えております。

続いて、資料2にお戻りいただきまして、2 ページの右側から3 ページにかけて記載されております5の基本要素をごらんください。

この中では、健康づくりに取り組む八つの基本要素である栄養・食生活、身体活動・運動、休養、続いて3 ページ上段に移りまして、飲酒、喫煙、歯・口腔の健康、健康行動、親子の健康について、それぞれの現状と課題、取組方針、主な取り組みと事業、主な成果指標を示しております。

なお、資料2は、概要であるため、取り組みと事業、成果指標につきましては、主なものを抜粋して記載しており、資料1の本書に詳細を掲載してあります。

資料1の本書の25 ページから50 ページ、第4章の基本要素をごらんください。

この中では、25ページの1の基本要素の内容、26ページの2の全ての基本要素に共通する成果指標と、27ページに先ほどお示ししました3の基本要素ごとの取り組みと成果指標を掲載しており、例えば、栄養・食生活ですと、27ページをごらんください。基本要素ごとに、現状と課題、取組方針、そして、28ページの市民、地域、企業、関係機関、行政それぞれの取り組み、行政の行う事業、29ページの成果指標を掲載しております。

ここでも、前回までの策定部会から見直した点がございますので、ご説明させていただきます。

本書である資料1の25ページをごらんください。

基本要素の健康危機管理を健康行動と同一のものとして整理し、これまで九つあった基本要素を八つとしたいと考えております。経緯としましては、市の関係課長によるワーキンググループ会議の中で、健康危機管理に対する指標でありましたかかりつけ小児科医がいる子どもの割合と、かかりつけ医を決めている市民の割合については、健康危機管理の要素も持つが、かかりつけ医を決めて受診行動がとれるという意味からは、健康行動の要素もあるのではないかとのご意見をいただきました。

札幌市の他の計画である札幌医療計画の中で、かかりつけ医とは、日ごろから患者の体質、病歴や健康状態を把握し、診療のほかに健康管理上の助言などもしてくれる身近な医師と定義されておりまして、事務局で検討いたしました結果、かかりつけ医に関しては、健康行動の側面が強いことから、基本要素の健康行動に対する指標とすることとしたいと考えております。

このような観点で健康危機管理の指標を見直しましたところ、定期予防接種やインフルエンザの予防接種、HIV検査を受けることは、がん検診や特定健診を受診することと同じ健康行動として整理できることがわかりました。

このことから、基本要素の健康危機管理については、健康行動として、再度、整理したいと考えております。

また、これまでの策定部会の中では、基本方針ごとの基本要素から指標や取り組みを検討してまいりましたが、市民にわかりやすいように、基本要素ごとにまとめることとしたいと考えております。

続きまして、資料2の3ページの右側下段をごらんください。

6の健康を支え、守るための社会環境の整備でございます。

この中では、健康づくりを支える環境、健康な生活を守る環境について、環境整備を行う必要性と、行政の主な取り組みと事業を示しております。本書である資料1の51ページから52ページの第5章、健康を支え、守るための社会環境の整備に掲載しております。

なお、市の関係課長によるワーキンググループ会議の中で、健康な生活を守る環境については、大気汚染等も含まれるのか、定義をしっかりとっておく必要があるのではないかとのご意見をいただきました。

札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）では、健康な生活を守る環境を、個人が健康被害を防ぐために、みずからコントロール可能な周囲の環境と定義し、市民への普及啓発により、市民が自身の健康を守る行動につながる取り組みを健康な生活を守る環境の整備のための取り組みとしたいと考えております。

また、同じワーキンググループ会議の中で、薬害など、医療や薬事に係る内容も健康な生活を守る環境の整備に含まれるのではないかとのご意見もいただきましたので、市民が自身の健康を守る行動につながる取り組みにつきましても、札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ（第二次）に入れていきたいと考えております。

続きまして、本書である資料1の54ページをごらんください。

第6章の計画の推進についてご説明いたします。

1の推進体制につきましては、札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）では、札幌市健康づくり推進協議会において、計画の推進と評価を実施してまいります。また、現計画である札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21では、計画の進行管理と評価については、中間評価と最終評価の2回のみでしたが、札幌市健康づくり基本計画健康札幌市（第二次）においては、計画の実効性を確保するため、毎年度、計画に掲げる施策の進行状況等を把握し、次年度の取り組みにつなげていきたいと考えております。

続きまして、55ページをごらんください。

第6章の計画の推進のための取組・事業一覧についてですが、今後、計画の推進のために取り組む事業について掲載しております。

次に、71ページをごらんください。

参考資料についてでございます。

策定部会の中で長時間かけてご検討いただきました成果指標の設定理由や目標値の設定根拠などについて、参考資料として、本書である資料1の巻末にございますとおり、掲載したいと考えております。

最後に、前のほうにお戻りいただきまして、3ページをごらんください。

前回の策定部会でもご説明いたしましたコラムについては、資料1の3ページ下段にあるとおり、現在のところ14の取り組みや情報提供内容が候補として挙がっております。今後、内容を精査した上で、関係する基本要素のところに掲載したいと考えております。

何点か例を挙げますと、27ページをごらんください。

基本要素の栄養・食生活に関連するコラムとして、札幌市食生活改善推進員協議会に関するコラムを掲載してございます。

また、32ページをごらんください。

基本要素の身体活動・運動に関するコラムとして、ウォーキングに関連するコラムを掲載してございます。

議題1の札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）の素案については、以上でございます。

○川初部会長 ありがとうございます。

札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）の素案についてのご質問、ご意見はございませんか。

説明が量的に大分多かったです、内容の把握など、いかがですか。

毎回の部会で検討してきたことが順序よく盛られていまして、思い出しながら、でき上がったところを見せていただきましたが、何かございませんか。

○山脇委員 「思春期ヘルスケア」ところは、誤植でしょうか。「ヘルケア」になっております。

○川初部会長 脱字です。

○事務局（澤田健康推進担当課長） ありがとうございます。訂正いたします。

○川初部会長 ほかにございませんか。

○井谷委員 同じく脱字ですが、40ページの（6）歯・口腔の健康のところの下の方で、サークルになっている図の右側、地域というところの四角囲みの中の「行います」の「す」が抜けて「行いま」になっていますので、「す」を加えてください。

○事務局（澤田健康推進担当課長） 申しわけありません。訂正いたします。

○川初部会長 どうぞよろしく申し上げます。

ただいま、脱字について2点の指摘がありました、この素案は、本案で、印刷に持ち込む前に一字一句の読み直しはされるのですね。

○事務局（澤田健康推進担当課長） この後につきましては、案として、健康づくり推進協議会でもう一度お諮りします。それと同時に、これは、私どもが自分たちでつくったものですが、業者委託して製本いたしますので、しっかりと見直してまいりたいと思っております。

○川初部会長 どうぞよろしく申し上げます。

案文のボリュームですが、これに、さらに写真や図が加わって体裁を上げていくなど、そういう構想はあるのですか。今のもので完成しているのですか。

○事務局（斉藤地域保健担当係長） これは、私どもが打っている本当の素案ということになります。写真というのは考えていなかったのですが、市民にわかりやすいように、図などを入れていくような形は考えているところです。

○川初部会長 どうぞよろしく申し上げます。

ほかにございませんか。よろしいですか。

（「なし」と発言する者あり）

○川初部会長 ありがとうございます。

ただいまご説明いただきました札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）素案については、この部会で了承したいと思っております。ありがとうございます。

続きまして、事務局から皆様に、札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）素案につきまして、補足事項があると伺っております。

事務局から、ご説明をお願いします。

○事務局（澤田健康推進担当課長） 本書である資料1の19ページの上段をごらんください。

第2回の策定部会において、基本理念の目指す社会のイメージについて、子どもがすこやかに成長できる社会、いくつになっても社会参加し、地域でつながっている社会、支援を要する高齢者や障がいのある方が安心して過ごせる社会、市民の主体的な健康づくり活動が活発に行われ、高齢になっても健やかに暮らせる社会として事務局から案をお示しし、ご検討いただきました。今後、札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）の策定が進む中で、目指す社会のイメージを作成していくこととなっております。

策定部会は今回が最終回でございます。これまでの策定の経緯、計画の全体像から新たな意見をいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○川初部会長 目指す社会のイメージについて、意見をよろしく願いしますという願いが出されました。

いかがですか。この席でお出しいただければ、大変助かります。

目指すべき社会は、札幌市が目指すという意味において、やっぱり札幌市の特徴が浮かび出たほうがよろしいのですか。

○事務局（澤田健康推進担当課長） 札幌市の特徴であったり、市民が手にしたときにイメージしやすいものがないかと考えております。

○川初部会長 なかなか出しにくい点もあろうかと思いますが、井谷委員から順番に聞いてまいりましょう。

○井谷委員 強いて言えと言われれば、ぱっと見て、元気や活力などの言葉が入ってもいいのかなという感じがします。

○川初部会長 まず、いろいろとお出しいただきたいと思います。

井谷委員からは、元気や活力というキーワードを表に出すということでした。

松田委員は、いかがですか。

○松田委員 私も余り思い浮かばないのですが、超高齢化社会の部分が中心になっていると思います。

前回の会議で、高齢者が幾ら誘っても出てこない、どうしてもひきこもってしまうという実態なのだと思っていました。割と、看護職の高齢者がすごくよく出ていくのです。サロンみたいな集まりを準備するとかもあります。出ていけるような環境を看護職の間でつくっていつているものがあるみたいです。その人のセカンドキャリアを生かせるような場をつくっていったりしながら、少しでも出ていけるように整えていつている部分があると思います。これとは余りつながらないのかもしれませんが、高齢者を生かしてもらえる社会などがあつたらいいかなと思います。

○川初部会長 社会参加が続くというイメージですか。

○松田委員 そうですね。そういう場をつくっていくとか、全然言葉になっていなくて済

みません。

○川初部会長 ありがとうございます。

吉田委員は、いかがですか。

○吉田委員 目指す社会のイメージということなので、文章をぱっと見たときに、すぐわかるようなものがないと思います。最初の子どもがすこやかに成長できる社会というのはすぐイメージできますが、だんだん長くなってくるとイメージが湧きにくくなるので、後のほうも一言でわかるような文言のほうがいいのかなと思いました。

○川初部会長 山脇委員、お願いします。

○山脇委員 この四つを見まして、まず、上の子どもたちから高齢者まで「すこやか」という言葉が貫いていますが、柱になる言葉があったほうが良いと思って見ていました。

学校現場では、安全や安心という言葉をよく使いますし、子どもたちには、これから大人になって暮らしていくときに、自分の将来のイメージとして、大きな夢を持ってとかいう言葉をよく使います。世代向けの言葉で、子どもたち向けには安全・安心や夢という言葉があってもよろしいと思います。それから、我々から我々の先輩世代の高齢者については、地域とのつながりといいますか、古きよき昭和、大正や明治かもしれません、向こう三軒両隣と仲よくコミュニケーションができていた、それを復活させるわけではないですけれども、孤立している高齢者の皆さんを何とかコミュニケーションの輪の中に持っていけるような言葉といいますか、なかなかうまく表現ができませんが、子ども向けの安全・安心、夢という言葉と、成長とともに、高齢者の皆さんには、地域とのつながりという言葉があったらいいかなと思います。

ぱっと見て感じたことを言いました。

○川初部会長 ありがとうございます。

佐々木委員、お願いします。

○佐々木委員 ここには、子どもから高齢者に向けてのすばらしい社会を表現していますが、楽しさがないような気がします。何と言ったらいいいのかわかりませんが、今、山脇委員がおっしゃったように、夢や安心など、いろいろなものを盛り込むのは大変だと思いますけれども、紋切り型ではなくて、もうちょっと楽しいものが入っていたらいいかなという感じがします。

○川初部会長 楽しさ、明るさが見えてくるような文言を挟んでほしいということですね。ありがとうございます。

辻委員、お願いします。

○辻委員 高齢者についていいますと、支援を要する高齢者や障がいのある方が安心して過ごせる社会というのは、受け身の立場といいますか、それよりも、いろいろな知恵や経験がありますので、高齢者の元気、自立を前提にして、高齢者の社会参加、貢献という文言が入ると、高齢者の存在感も出てくるのではないかと思います。

以上です。

○川初部会長 ありがとうございます。

いろいろとお出しいただきました。たくさん出たと思いますので、札幌市のイメージをこれで決めたいというご意見はございますか。

目指すべき社会のイメージの欄に書いてあることと、各委員から大分出ましたお話の内容が連動するか、事務局に一任させていただきたいと思いますが、可能でしょうか。

○事務局（斉藤地域保健担当係長） たくさんのご意見をいただきまして、ありがとうございます。

子どもは、かたい頭でいろいろと考えてまいりたいと思いますが、元気や明るさなどが前面に出せるようなイメージを表現できるように努力してみたいと思います。

○川初部会長 どうぞよろしく申し上げます。ありがとうございます。

次に移ります。

議題（２）の札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ２１（第二次）のサブタイトルを要求されてございますので、まず事務局から説明をお願いしたいと思います。

○事務局（下潤健康推進係長） サブタイトルについてご説明させていただきます。

札幌市健康づくり基本計画につきましては、現在の計画においては、健康さっぽろ２１として推進してまいりました。今回策定しております札幌市健康づくり基本計画（第二次）につきましても、資料１の表紙にありますとおり、札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ２１（第二次）として、さらに進めてまいりたいと考えております。

なお、現在の計画には、サブタイトルとしまして、「健康づくりはあなたから」というタイトルが付されております。また、第２回策定部会と前回の策定部会において、札幌市健康づくり計画健康さっぽろ２１（第二次）を広く市民に知っていただくためには、呼んでみたいと思わせるようなサブタイトルをつけたほうがいいのではないかとというようなご意見をいただいております。

そこで、策定部会における札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ２１（第二次）のサブタイトル案を確定し、市の内部の調整、市民へのパブリックコメント募集を経まして、最終的にはサブタイトルを確定したいと考えております。

事前にご意見をいただいたものと、事務局で案を何点か検討いたしましたので、ここでご紹介させていただきます。

資料３をごらんください。

一つ目から読み上げさせていただきます。

- 1、読んでみよう「健康管理のキーポイント」～出産者から高齢者まで～。
- 2、ツナガル 未来へ 健康さっぽろ２１（第２次）。
- 3、楽しくつながる 未来へ続く 健康さっぽろ２１（第二次）。これらの狙いとしましては、札幌市民一人一人が地域つながることで、健康づくりを楽しみながら、継続して実践するまちとしたいというような思いが込められております。

4、今からスタート！毎日続ける健康習慣。これは、すぐ取り組みを始めることと、継

続的に取り組むこととの重要性をPRしたいということでございます。

5、いつまでもすこやかで自分らしい生活を手に入れよう。これは、健やかに過ごすことが豊かな人生につながるというメッセージを込めております。

6、あなたにもできる！ここから始める健康づくり。これは、誰でも健康づくりに取り組めるので、気づいたときから始めようというメッセージを込めております。

7、楽しくみんなで健康づくり。これは、一人ではなく、周りの人と一緒に取り組もうというメッセージを込めております。

8、一人ひとりが取り組む健康づくり。これは、健康づくりは一人一人の取り組みからというメッセージを込めております。

9、今から取り組む健康づくり。これは、今からでもすぐに取り組みを始めてほしいというメッセージを込めております。

10、市民がすこやかに暮らせる未来へ。これは、市民の将来が健やかであることを目指してというメッセージを込めております。

11、いつまでもすこやかでいられるために。これは、どの年代でも健やかでいられるための指針としてPRしていきたいということが思いとして込められております。

12、いつまでも、いきいきとすこやかであるために。これは、どの年代でも健やかでいられるように取り組みをしてほしいという思いが込められております。

資料3の案にこだわらず、新たな意見をどんどん出していただきたいと思っておりますので、ご検討をお願いいたします。

議題(2)の札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21(第二次)のサブタイトルについては、以上でございます。

○川初部会長 ありがとうございます。

先ほどのものとあわせて、同じような性格の要求でございますので、同じように伺っていきたくと思います。

一つは、長い人生、健康に生きましようという声がけになるのだろうと思います。

今度は、反対から回りましよう。辻委員、サブタイトルについて、忌憚のない意見はございますか。

○辻委員 この中に出ているものを複合してはどうかと思います。1番の読んでみよう「健康管理のキーポイント」とあって、その後、出産者から高齢者までとあります。言ってみれば、揺りかごから墓場までみたいな発想です。11番目のねらいのどの年代でもすこやかでいられるための指針をここに持っていったらどうかと思います。言ってみれば、読んでみよう「健康管理のキーポイント」～どの年代でもすこやかでいられるための指針～でございます。

○佐々木委員 一応、読んでみよう～いつまでもすこやかでいられるために～というふうに、そのままだもいいと思いました。今おっしゃったように、どの年代でもというのもいいような気がします。複合してつくと、本当にすばらくなるのかなという思いでございます。

す。

○川初部会長 ありがとうございます。

複合という意見が二つ続きました。そういう意味では、キャッチフレーズにキーワードをつけ加えてくださっても結構ですので、ご意見をいただきたいと思います。

出産者から高齢者までというのはどこから応募があったのかと思いますが、出産者というのは妊婦という意味ですか。本当は、赤ちゃんの健康も考えたいし、発祥であるイギリスの社会福祉では、揺りかごから墓場までという言葉をやめて、子宮から墓場までに変えましたね。英語が韻を踏んでいまして、揺りかごはクレードルと言うのですが、from cradle to graveで、揺りかごから墓場までということです。子宮というのはウームですので、from wombといたら、今度はcradleで韻を踏めないものですから、tombにして、from womb to tombに変えて、今はその言葉が使われています。

ですから、例えば、胎児からというのは言いづらいのですが、赤ちゃんからという意味があればいいと思います。

山脇委員、いかがですか。

○山脇委員 横文字で、ビー・アンビシャスから持ってきて、ビー・ヘルシー、今から始める札幌人の健康づくりがいいと思います。札幌人という言葉で、下から上まで全部の世代を包括しようかなと思ひまして、ちょっと考えてみました。

○川初部会長 札幌人ですから、北国も入っていますね。

吉田委員、お願いします。

○吉田委員 皆さん、すごいなと思います。

第1印象として、つながるという言葉がいいのかなと私は思いました。いろいろな意味に通用するというイメージがあります。

○川初部会長 未来にもつながる、健康にもつながる、社会にもつながる、人々もつながる、そんなことですか。

松田委員、お願いします。

○松田委員 私は、すぐ行動できるように、4番の今からスタートというのがいいと思います。今すぐ始めることと、継続的に続けていくというところの二つが含まれた4番がいいと思います。

○川初部会長 4番を強調して発言していただきました。

井谷委員、お願いします。

○井谷委員 これ以外にというのは考えつかないのですが、ここで列挙されております中では、ぱっと見て、当たり前というか、サブタイトルをつけるときにわかりやすいようなのはどれかなと思って見ていました。下の11番や12番みたいに優しい表現で書かれていると、例えば小さいお子さんから高齢の方までみんながわかるのかなという感じがしますし、すごく平易な表現でわかりやすいかなと思います。ありきたりといえあればありきたり

で、札幌の特徴も出ておりませんが、そういう当たり前が無難かなという感じがいたしました。

○川初部会長 ありがとうございます。

1点、4番がいいという後押しがございましたが、札幌市のサブタイトルはこれでいいじゃないかという意見を主張して、ご説明いただけますか。部会として、案を決められれば決めたいと思います。

今、同じように持ち回りで意見が出ましたので、先ほどと同じように、各文言をもう一度すり合わせていただいて、事務局で検討していただくということで、部会としてはよろしいですか。

○事務局（下瀬健康推進係長） 先ほどと同様に、こちらで考えさせていただいて、協議会に移ると思いますが、検討させていただきたいと思います。

○川初部会長 よろしくお祈いします。

ありがとうございます。

続きまして、議題（3）の札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）策定スケジュールにつきまして、事務局から説明をお願いします。

○事務局（下瀬健康推進係長） 資料4をごらんください。

本日ご検討いただきました素案につきましては、いただいたご意見や全体の体裁をチェックしまして、素案に加筆なり修正なりをしまして、皆さんにもご参加いただきます健康づくり推進協議会の中でご協議いただきまして、素案として確定いたします。

健康づくり推進協議会につきましては、資料4の中段あたりに協議会と書いておりますが、9月上旬の開催を予定しております。その後、9月中旬に素案を市長へ手交する予定であります。その後につきましては、市役所内部での調整、検討が12月ごろまで行われまして、これをもとに、来年1月にはパブリックコメントを実施しまして、市民の方からも広くご意見を伺ってまいります。

札幌市健康づくり健康さっぽろ21（第二次）は、次世代を担う若い世代の健康づくりに関する項目もございますので、パブリックコメントにつきましては、大人だけではなく、思春期の世代である小学生高学年から中高生に対しましても広くご意見を募るように実施していきたいと考えております。

パブリックコメントでの市民のご意見を反映しまして、平成26年3月に計画を確定して公表したいというスケジュールを想定してございます。

議題（3）の札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）の策定スケジュールにつきましては、以上でございます。

○川初部会長 ありがとうございます。

札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21（第二次）の策定スケジュールのご説明をいただきました。

ご質問、ご質問、ご意見はございませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○川初部会長 ございませんようでしたら、これで議題が終了することになります、よろしいですか。

(「異議なし」と発言する者あり)

○川初部会長 ありがとうございます。

以上で、札幌市健康づくり基本計画健康さっぽろ21(第二次)の検討は、全過程が終了となります。

期間は長きにわたりました。長期間にわたり、皆様方にご検討いただきまして、きょうの終わりまでこぎつけられました。ありがとうございます。

それでは、進行を事務局にお返しします。

○事務局(高川健康企画担当部長) 皆さん、どうもありがとうございました。

会長からお礼をいただきましたが、私どものほうこそ、皆さんには、本日を含めまして非常に熱心なご審議をいただきまして、心から感謝申し上げます。

振り返りますと、札幌市のこれからの基本的な計画となる健康づくり基本計画の策定部会を設けましたのは、3月末でございました。ほぼ5カ月前で、きょうが第7回ですので、この5カ月は長いのか短いのかということはございますが、素案という形でおまとめいただいたボリュームからしても、5カ月でよくこれだけのご審議をいただいたものだと、ただただ心からお礼を申し上げるばかりでございます。

時には、長時間にわたるご審議もいただきました。時間を超過したり、お忙しい中をお集まりいただいた結果の成果として、きょうこのような形でおまとめいただいたことに対しては、心から敬意を表する次第でございます。

なお、今後のスケジュールでもお話ししましたように、これから、母体であります協議会にこの素案をご報告いただいて、素案が計画の原案ということになります。その後、札幌市の基本方針としての確定に至る手続を経て、平成26年4月からスタートする計画として取り組んでまいります。

繰り返しますが、会を重ねて熱心にご審議いただきまして、まことにありがとうございました。

4. 閉 会

○事務局(高川健康企画担当部長) これをもちまして、閉会させていただきます。

本日は、どもありがとうございました。

以 上